

事業	12	日本語適応指導事業
担当所属		指導課

## 【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,600,000	3,475,000	3,475,000	0	0	0	0

## 【決算額の節別内訳】（円）

08	報償費	3,475,000			
----	-----	-----------	--	--	--

## 【実施計画の概要】

事業の内容	帰国子女や外国人児童生徒の指導方法充実のため、学校に月 4 回程度、外国語の話せる日本語適応指導員を派遣します。
事業の目的	日本語指導が必要な児童生徒等の増加等を踏まえ、これらの児童生徒に対し適応指導・日本語指導を行うとともに、関係機関と連携し、受入体制を整備するなど、学校全体できめ細かな対応を図ることが重要です。本事業では、日本語指導が必要な児童生徒の学校生活への適応を図るとともに、外国における生活経験を生かしながら適切な指導を行い、日本語の習得や教科指導、不適応の問題などに対応することを目的とします。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導・生活指導の円滑化が図られるとともに、教育相談の効果が向上します。</li> <li>・日本語を理解できない保護者の学校理解にも役立ちます。</li> </ul>

## 【事業の概要】

帰国子女や外国人児童生徒の指導方法充実のため、外国語の話せる日本語適応指導員 11 人を小中学校 20 校に 720 回派遣しました。

## 【活動指標・成果指標】

指標名	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
依頼に応じて派遣した指導員数	11 人	14 人	16 人
本事業により日本語を習得することができた児童生徒の割合	100%	100%	100%
日本語適応指導事業を実施した学校数	20 校	19 校	15 校
日本語適応指導を受けた児童生徒数	38 人	41 人	39 人
日本語適応の実施回数	720 回	720 回	628 回
成果報告の割合	100%	100%	100%